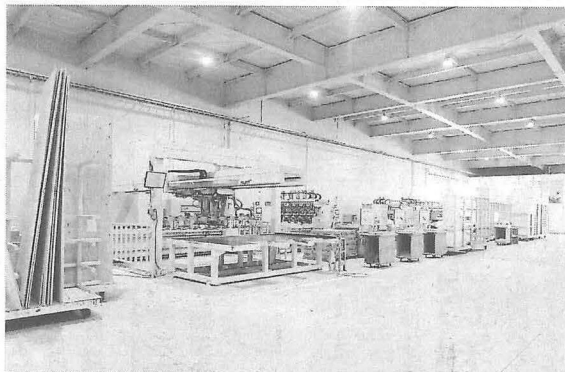


プレウォール工法、比率増える

CAD外注メンバー増強

ウッドリンク

ウッドリンク(富山 長)は、2016年の年間約2万7000坪(前年比13%増)を



プレウォール工法の加工ライン

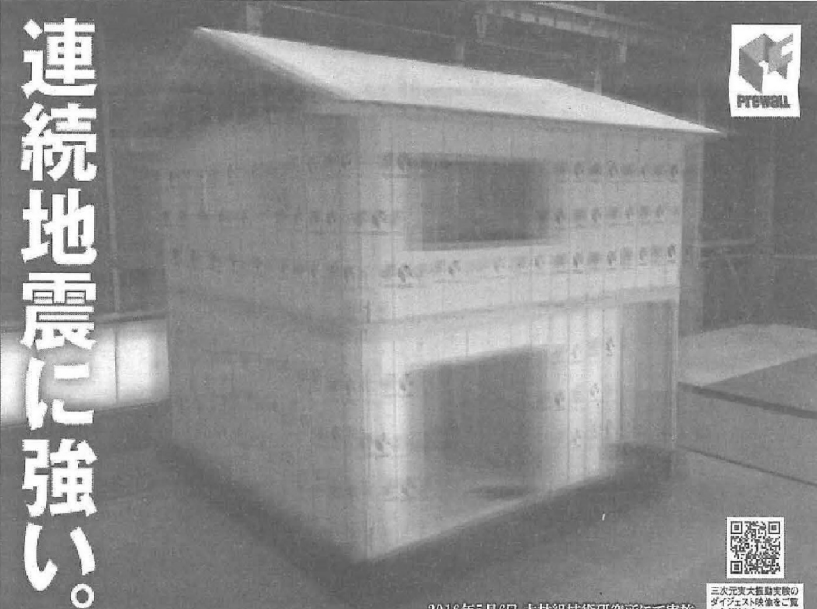
県射水市、原野剛行社 加工実績が年間約6万坪(前年比13%増)を坪で前年比加工した。原野社長は微増だった「宣伝効果が表れてきた。新規取った」と実感している。引先の開拓 軸組と床・壁パネルが、加工数を組み合わせた同工法量の増加には耐震性が高く、繰りつなが返しの揺れにも強い。

またフェノールフォー新規受注の採用により優れた大きな武断熱性能を持ち、省エネ性も高い。高強度の器となったのが、同社が開発した高品質軸組パネル「プレウォール」が体感型施設ウッドリンク・ラボだ。同工法

提案にも活用されるのプレウォールが体感型施設ウッドリンク・ラボだ。同工法

だけでなく換気システムなどの省エネ設備、フローリングなどの建材も提案し、施主となるエンドユーザーの住宅建築意欲も高める。このほど、新たに木質空間を設置し、内装木質化の提案を強化した。同施設は、顧客となる工務店支援にも用いられており、性能やデザインといった木造住宅の魅力をエンドユーザーに伝える場になっている。

このほか加工の分野では、高周波幅はぎ接着機を導入し、フリー板や積層間柱、羽目板を生産している。使用木材は中部産や卓産の杉・桧。内装の仕事とプレカットの仕事の相乗効果も期待される。現在同社では、生産安定化のために、設計段階の精度向上に取り組んでいる。4月から、中国・大連でのCAD外注メンバーの増員を進めている。同社から社員1人が現地に出向し、教育に当たると。これまでに2、3人体制だったが、早期に10人体制に引き上げる考えで、6人体制まで強化が進んでいる。



連続地震に強い。



三次元実大震動実験の
ダイナミック試験を
行ったがまず

2016年5月8日 大林組技術研究所にて実施

加振最大速度

818gal

震度7・震度6弱

連続加振回数 **10**回

<http://www.prewall.jp>

積雪1mを想定

積雪荷重 **10**トン